



日本骨髄バンクの現状（2018年1月末現在）

	12月	1月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,010	3,021	483,069	726,399
患者登録者数	201	250	3,736	52,952
移植例数	85	91	—	21,579

■1月年代別ドナー登録者数（現在数）

10代	4,287人
20代	72,173人
30代	138,014人
40代	207,048人
50代	61,547人

■1月の20歳未満の登録者 442人

■1月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／995人、献血併行型集団登録会／1,979人、集団登録会／0人、その他／47人

■1月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：434件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1

「骨髄バンクコーディネートにおける効率化のための要因の探索」に関する研究への協力（大規模アンケート調査）

厚生労働省研究班（以下、福田班※1）では、骨髄バンクのコーディネートプロセスの改善のための要因を探る目的で大規模アンケート調査を3月から実施予定であり、当法人は対象ドナーの抽出等に協力いたします。この調査では、研究班員である東京大学吉内一浩氏※2により、過去にドナーとなられた方々（提供者および提供に至らなかった場合を含む）の率直なご意見・ご感想をアンケート形式で収集し、解析・調査が行われます。調査対象は2015～16年度に適合通知を受けた中で、当時40歳未満のドナーであった約1万人となります。詳細な解析結果につきましては、福田班での発表後、2021年以降に学会発表や学術雑誌等にて公表されます。骨髄バンクでは移植に至るまでの期間が約5か月と長期にわたることが積年の課題であり、今回の研究を通してその原因や改善につながる方向性が明らかになることが期待され、今後当法人の業務の参考にしていく予定です。

※1「骨髄バンクコーディネート期間の短縮とドナープールの質向上による造血幹細胞移植の最適な機会提供に関する研究」（研究代表者/福田隆浩医師・国立がん研究センター中央病院）

※2 東京大学大学院医学系研究科 ストレス防御・心身医学 准教授

2

新たに3市でドナー助成制度スタート

「骨髄バンクを介して骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が新たに3市でスタートしました。これまでに導入した市区町村は全国で322になります。

なお、助成内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください。

当法人ホームページに問い合わせ先一覧を掲載しています。[HOME>ドナー登録されている方へ>骨髄・末梢血幹細胞の提供までのながれ>提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体]

■新たに導入した自治体：○那須烏山市（栃木県） ○鹿嶋市（茨城県） ○山武市（千葉県）

3

今年も読売巨人軍キャンプ地で骨髄バンク支援

2月3日（土）、読売巨人軍の宮崎キャンプ地・KIRISHIMAサンマリンスタジアム宮崎で骨髄バンクのPRとドナー登録会を行いました。宮崎県、地元ボランティアのご協力で3年連続の開催となります。

特設ステージでは、提供ドナーの高田美佳さんが体験談を語り、骨髄バンク普及大使の佐々原聖子さんが歌声を披露するなど、ドナー登録を呼びかけました。時折強い寒風の中、14名の方にドナー登録いただきました。登録者の方をはじめ、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

2月17日（土）は那覇キャンプ地でドナー登録会と献血を実施します。

※骨髄バンク公式Facebookもご覧ください。

4 チャンス改訂のお知らせ（予告）

4月よりドナー登録のしおり「チャンス」を改訂します。主に改正個人情報保護法への対応のほか、末梢血幹細胞提供の健康被害例について非血縁者間のデータを収録するなど、現状に即して反映する予定です。新しい「チャンス」は、4月以降順次差し替えのうえ、使用を開始します。詳細は次号マンスリーJMDPでお知らせします。

5 当法人の会議等開催予定

会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	2月19日（月）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
ドナー安全委員会	非公開	3月11日（日）12時半～16時半 廣瀬第2ビル地下会議室
通常理事会	公開・一部非公開	3月29日（木）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

6 コーディネート期間短縮に向け、開始ドナー人数増加を本格実施

コーディネート期間を短縮化するための取組みの一環として、現状で開始ドナー人数が最大5人となくなっているところを10人に増やした場合のコーディネート行程における影響や、コーディネート期間の短縮化が可能かどうかを検証するためのトライアル事業を昨年4月～6月に実施しました。

トライアルでは主に下記の検証結果が得られ、4月より全国で実施することになりました。

【主な検証結果】※

- ・トライアルへ参加した患者は、過去10年間の報告と比較して移植到達率が増加していた。
- ・トライアル患者では、初回確定ドナーから移植を行える確率が増加し、コーディネート期間が短縮していた。
- ・初回確定10人のドナーから移植に到達できなかった場合、コーディネート期間が延長していた。
- ・ドナー選定後のドナー理由によるコーディネート終了は、コーディネート期間の延長に影響を及ぼしていた。

※「骨髄バンクコーディネート期間の短縮とドナープールの質向上による造血幹細胞移植の最適な機会提供に関する研究」（厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患等政策研究事業）資料（2018.1.7）より抜粋

【開始日】 2018年4月2日（月）から

【対象患者】 2018年4月2日以降の新規患者
2018年4月1日以前に登録済みであっても4月2日以降に初回確定を行う患者

本件は運用上、いくつか注意事項があります。

詳細は添付資料「初回確定ドナー10名の進め方」をご確認ください。

7 移植最適時期での採取をめざす取組み ～ドナーへの説明および対応について～

当法人では「期間短縮に向けた移植最適時期での採取をめざす取組み」を進めています（2017年11月15日、12月15日発行のマンスリーJMDP参照）。

この取組みの一環として、ドナーへの説明および対応を下記のとおり開始します。

【方法】

コーディネート開始時および確認検査面談時にドナーに対して、患者の最適時期に移植することが重要であることや採取施設について丁寧に説明したうえで、ドナー選定時に採取施設をドナーに提示して採取・移植日程の調整をします。

【帳票等変更日】 2018年3月1日

※コーディネーターの方には、2月18日ブラッシュアップ研修会で具体的な運用に関する資料を配布し、説明します。

8 第40回日本造血細胞移植学会総会開催

「第40回日本造血細胞移植学会総会」が2月1日（木）～3日（土）の3日間、札幌市で開催されました。当法人は「地区代表協力医師会議」を併催したほか、展示ブースでは、絵本「春ちゃんは元気です」の原画パネルを展示し、パネル展や絵本朗読会の提案をしました。

また、一般社団法人日本造血細胞移植学会主催「造血幹細胞移植推進事業フォーラム」には約190名の参加があり、当法人はコーディネート期間短縮の取組みについて説明を行い、関係者に協力をお願いしました。

最終日には「市民公開講座 ～血液がんの治療をのりこえる～」が開催され、血液がんの治療における副作用について焦点があてられ、その対応方法について情報共有が行われました。

造血幹細胞移植推進事業フォーラムの詳細は、日本造血細胞移植学会ホームページをご参照ください。 [<http://www.jshct.com/info/2018forum.shtml>]

次回、第41回学会総会は、2019年3月7日（木）～9日（土）大阪市で開催されます。

9 2018年度調整医師委嘱更新手続き <調整医師の方へ>

2018年度調整医師委嘱更新手続きが必要な先生方あてに、1月中旬以降順次、委嘱更新の書類を郵送しました。2月28日（水）までにドナーコーディネート部までご返送くださいますようお願いいたします。

なお、従来2年毎に委嘱更新していましたが、2016年度より委嘱期間を年度末まで1年間とし、期間満了の2ヶ月前までに申し出のない限り自動更新としています（異動、活動休止等の場合はお早めにご連絡ください）。また、委嘱更新の書類には業務委託契約制度への協力をお願いの文書を同封しています。ご検討のほど何卒よろしくお願い申し上げます。